

第5章

教育・文化・スポーツ

～意欲と活力を育む学びのまち～

基本施策

26	学校教育の推進	146
27	社会教育の推進	150
28	次世代の学校・地域創生の推進	152
29	山口東京理科大学の教育環境の整備・充実 ..	154
30	芸術文化によるまちづくりの推進	156
31	スポーツによるまちづくりの推進	160



基本施策

26

学校教育の推進

2029年のあるべき姿

急激に変化する時代の中で子どもたちが自分のよさや可能性を認識するとともにあらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協創しながら持続可能な社会の創り手となることができるよう、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する学校体制が整えられています。また、山口東京理科大学を始め地域の教育資源を活用することで学校教育の質が向上しています。

現状と課題

- 子どもたち一人一人の元気と笑顔があふれる学校を協創していくためには、児童生徒が安心安全に学べる環境づくりを更に充実していく必要があります。
- 子どもたちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付け生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、主体的対話的で深い学びのある授業への改善を一層推進していく必要があります。
- 郷土への誇りや愛着を育むとともに、子どもの豊かな学びや育ちを実現するためには、地域にある教育資源の活用や教材化、学校間の連携を更に進めていく必要があります。
- 教育活動を効率的、効果的に進めるために施設・設備等の整備を進めていく必要があります。

4年間の目標

- 児童生徒への不登校支援の強化
- 児童生徒が楽しく安心して生活できる学校・学級づくり
- 児童生徒の満足度が高い授業の実施
- 地域の教育資源の開発と教材化
- 幼稚園・保育所、小学校、中学校、高等学校、大学との連携の推進
- 学校、幼稚園における教育環境の整備

目標指標

指標	説明	現状値 (令和3年度)	中期目標値 (令和7年度)
学校は楽しいと回答する児童生徒の割合	各学校の学校評価アンケート	69.1%	85.0%
授業は分かりやすいと回答する児童生徒の割合	各学校の学校評価アンケート	61.6%	85.0%

基本事業

(1) 心に寄り添う学校づくりの推進

子どもたちが安心して楽しく過ごせる魅力ある学校づくりを推進します。また、いじめや不登校、問題行動等の未然防止と早期発見・早期対応ができるよう、児童生徒一人一人を大切にした相談体制の構築と関係機関との連携を進めます。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和2年度)	中期目標値 (令和7年度)
不登校児童生徒 [※] 数の割合	不登校児童生徒 [※] 数÷全児童生徒数×100	2.1%	1.8%

主要事業

■いじめ・不登校対策推進事業

■児童生徒の安全対策推進事業

(2) 教育環境の向上

子どもたちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付けることができるように、学習に係る教育環境を整えます。また、障害のある児童生徒に適切な指導と必要な支援を行います。幼稚園及び学校の施設・設備の改築・更新、計画的な老朽化・長寿命化対策等を行い、安心・安全な学校づくりに努めます。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和3年度)	中期目標値 (令和7年度)
週に3回以上クラウド※を利用した家庭学習を行う児童生徒の割合	学校教育課が実施するアンケート	0.0%	100%

主要事業

- 学校教育振興事業
- 学校ICT環境整備事業
- 特別支援教育支援事業
- 教職員の資質向上事業
- 学校施設整備事業

(3) 指導内容・方法の工夫

子どもの豊かな学びを実現するために、体験的な学習やICT※を活用した授業、地域について探求する学びなど、主体的・対話的で深い学びのある授業への改善を進めていきます。また、教育課題に関連する研修会を実施することにより教員の資質・能力の向上に取り組みます。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和2年度)	中期目標値 (令和7年度)
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができる」に「当てはまる」と回答する児童生徒の割合	学校教育課が実施するアンケート	53.5%	80.0%

主要事業

- 生活改善・学力向上事業
- 子ども市民教育推進事業
- 特色ある学習指導・生徒指導推進事業

(4) 学校間連携教育の推進

小学校と中学校の9年間で児童生徒に身に付ける資質・能力を明らかにした教育を展開していきます。中学校区を単位とした小・中学校が連携した地域連携カリキュラムを策定するとともに、幼稚園や保育所との連携や高校や大学との連携を進め、教育の質の向上を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和3年度)	中期目標値 (令和7年度)
小中学校が連携した学校・地域連携カリキュラムを策定している中学校数	中学校単位で連携したカリキュラムの策定状況	1校	6校

主要事業

■ 小中一貫・連携教育推進事業

■ 幼保・小連携事業

関連する個別計画

- 山陽小野田市学校施設整備計画（令和3年度～令和17年度）



1人1台端末を使用した授業

基本施策

27

社会教育の推進

2029年のあるべき姿

持続可能な地域社会の構築をめざし、一人一人が地域課題を自ら発見し解決していくことができるように、継続的かつ効果的な学びの場を提供しています。また、学習成果の活用や還元の機会をコーディネートし、地域における人づくり・地域づくりを推進しています。また、子どもたちが安心・安全に過ごせる環境づくりのため、青少年育成センターの活動を継続しています。

現状と課題

- 社会教育団体の高齢化とそれによる組織衰退化がみられます。
- 地域課題を自ら認識し、自ら解決しようとする人材や組織の発掘育成が進んでいません。
- これからのまちづくりに必要な、学びをベースとした地域社会の持続的発展という意識が、市職員に不足しています。
- 地域の活動拠点となる社会教育施設の老朽化が進んでいます。
- 青少年に関する問題が複雑・多様化し、不登校や SNS*トラブルなどの問題が潜在化しています。青少年に対する継続的な支援が必要です。

4年間の目標

- 社会教育団体の後継者育成支援
- 市職員の社会教育における資質向上
- 社会教育における学びの深化
- 地域のつながりづくり
- 社会教育施設の整備
- 補導活動の継続
- ヤングテレホン*の継続、相談員の資質向上

目標指標

指標	説明	現状値 (令和元年度)	中期目標値 (令和7年度)
地域課題(必要課題)に対応した講座の受講者数	生涯学習主催講座(津布田会館を含む)	8,752人	9,400人

基 本 事 業

(1) 社会教育活動の推進

多様な地域課題や市民ニーズに対応した学びの場を提供し、学びの成果を地域に還元するための仕組みを創出します。また、地域人材のまちづくりに対する意識の醸成やつながりづくりのための研修機会を確保します。図書館では幼児から大人まで全ての市民があらゆる機会を通じて読書活動ができる環境づくりに取り組みます。

【評価指標】

指標	説明	現状値	中期目標値 (令和7年度)
生涯学習主催講座の参加人数	津布田会館を含む	(令和元年度) 16,961 人	18,200 人
図書館貸出冊数	中央・厚狭図書館、分館、 電子書籍を含む	(平成30年度) 390,964 冊	394,000 冊

主要事業

- 社会教育推進事業
- 社会教育主事資格取得事業
- 読書活動推進事業

(2) 青少年健全育成活動の推進

補導活動や相談活動を始めとする青少年育成センターの活動を継続し、相談員の資質向上に努めます。また、関係機関との緊密な連携を図るとともに、親子のつながりを大切にするための活動に取り組みます。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和2年度)	中期目標値 (令和7年度)
不良行為少年の補導人数	山陽小野田警察署まとめ	53 人	47 人

主要事業

- 青少年健全育成推進事業
- 青少年育成センター事業

関連する個別計画

- 山陽小野田市子ども読書活動推進計画（平成 30 年度～令和 4 年度）

基本施策

次世代の

28

学校・地域創生の推進

2029年のあるべき姿

学校、家庭、地域の連携協力が十分に機能することにより、社会全体の教育力が向上しています。加えて、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりを推進し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えながら地域の活性化が図られています。

現状と課題

- 地域人材の高齢化による学校支援ボランティアの減少、放課後子ども教室※コーディネーターや安全管理員の不足は深刻な課題となりつつあります。
- 地域学校協働活動を推進するに当たって、地域協育ネット※コーディネーターや学校教員の負担が大きくなっています。
- 地域とともにある学校づくりや学校を核とした地域づくりに関する知識や情報が不足しています。また、そのため、地域課題の洗い出しが不十分です。

4年間の目標

- 持続可能な事業運営のための人材確保の取組
- 事業推進手法の改善
- コーディネーター同士の横のつながり（連携）
- 地域協育ネット※コーディネーターや学校教員の資質向上のための効果的な研修

目標指標

指標	説明	現状値 (令和2年度)	中期目標値 (令和7年度)
地域学校協働活動に参加する地域住民の数	—	55,587人	67,000人

基 本 事 業

(1) 学校・家庭・地域の連携の推進

学校教育や社会教育、家庭教育の連携を強化し、学校、家庭、地域が一体となって、学校教育を含む地域教育力の向上を目指します。また、人材確保及び資質向上のための研修機会を積極的に提供します。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和2年度)	中期目標値 (令和7年度)
「あなたは大人になっても今住んでいる地域に住みたいですか」の肯定率	コミュニティ・スクール※ 意識調査アンケート	61.4%	67.5%

主要 事業

■ コミュニティ・スクール推進事業

■ 家庭教育支援事業

■ 地域学校協働活動推進事業



地域と生徒によるグループディスカッション

基本施策

29

山口東京理科大学の教育環境の整備・充実

2029年のあるべき姿

山口東京理科大学の教育施設等の整備・充実を大学と連携して進めることにより、質の高い教育研究活動及び次代を拓く人間性豊かな人材の育成が行われるとともに、大学の知的・人的財産等を積極的に活用し、産学官及び地域社会との連携が展開され、地域の高等教育機関として公立大学に期待される「知（地）の拠点」の役割を果たし、地方創生の推進に貢献しています。また、大学施設が充実することにより、大学での学生生活の満足度が向上しています。

現状と課題

- 教育施設等の整備が遅れている状況です。教育環境及び学生生活の充実を図るため、施設の整備を進める必要があります。

4年間の目標

- 運動場の整備
- テニスコートの整備
- 駐車場の整備

目標指標

指標	説明	現状値 (令和元年度)	中期目標値 (令和7年度)
学生生活総合満足度(とても満足+まあ満足と回答した割合)	大学生生活意識調査(毎年、大学が実施)	84.8%	87.5%以上

基本事業

(1) 山口東京理科大学の教育環境の整備・充実

教育環境及び学生生活の充実を図るため、運営費交付金を山口東京理科大学に交付します。また、大学と連携して運動場、テニスコート、駐車場を整備します。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和3年度)	中期目標値 (令和7年度)
運動場の整備	未整備の施設の完成	着手	完成
テニスコート及び駐車場の整備	未整備の施設及び新たな施設の完成	着手	完成

主要事業

- 公立大学法人山口東京理科大学施設整備事業
- 山陽小野田市立山口東京理科大学運営費交付金事業



山口東京理科大学での衛生薬学実習

基本施策

30

芸術文化によるまちづくりの推進

2029年のあるべき姿

本市の特色のある芸術文化を定着させ、市内外の認知度向上に努めるとともに、文化交流拠点の在り方を踏まえた館運営・事業展開を行い、豊かな人間性を育み、本市に愛着と誇りを感じるまちづくりをしています。また、文化財の保護にも力を入れ、文化財のより効果的な活用に努め、市民へ広く周知することによる郷土愛の醸成が図られています。

現状と課題

- 山陽小野田市文化会館は開設から27年が経過し、老朽化しています。市民ニーズや山陽小野田市民館との役割分担等、文化施設の在り方を踏まえながら、館運営や老朽化対策を行う必要があります。
- 「ガラス」や「かるた」によるまちづくりに取り組んでいますが、にぎわいの創出や市のイメージ向上など、文化によるまちづくりの実現には至っておらず、更なる取組が必要です。
- 文化活動の担い手や文化イベントへの参加者が固定化、高齢化しています。市民ニーズを踏まえた文化事業の展開が必要です。
- 本市には多くの国指定などの文化財がありますが、保存状態が悪いものや、市民の認知度が低いものがあります。
- 文化財を適切に収蔵し、また有効に活用するための施設が著しく老朽化しています。

4年間の目標

- 文化施設の適切な整備・運営
- 芸術文化推進の体制整備
- 「ガラス」や「かるた」を中心とした芸術文化によるまちづくりの推進
- 市民ニーズを踏まえた文化事業の推進
- 地域、学校と連携した文化財の保護・活用
- 文化財の収蔵場所の確保及び活用のための適切な施設整備

目標指標

指標	説明	現状値 (令和3年度)	中期目標値 (令和7年度)
芸術文化の創作活動、行事への参加、鑑賞機会がある人の割合	総合計画策定に係る 市民アンケート	46.7 点	55.0 点
市の歴史や文化に愛着を感じる人の割合	総合計画策定に係る 市民アンケート	54.1 点	60.0 点

基本事業

(1) 芸術文化を育む環境づくり

芸術文化に触れ、豊かな人間性が育まれるよう、市の文化施設を計画的に整備するとともに、様々な文化事業を提供できる館運営の手法について検討します。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (平成29年度)	中期目標値 (令和7年度)
文化施設(文化会館・市民館)利用者数	—	87,867 人	90,000 人

主要事業

■ 文化会館維持整備事業

■ 市民館維持整備事業

(2) 芸術文化活動の推進

市民の文化に触れる機会の充実のために、ピアノマラソン、市民文化祭などの特色ある事業は、更に発展させ、芸術文化活動を推進するとともに、重点的に取り組んでいる「ガラス」や「かるた」については、まちのにぎわいの創出や市のイメージ向上に繋がる事業を展開します。

【評価指標】

指標	説明	現状値	中期目標値 (令和7年度)
市内のかるた競技団体数 (部活を含む)	—	(令和2年度) 4 団体	7 団体
ガラス体験者数	—	(令和元年度) 5,281 人	5,500 人

主要事業

- 文化によるまちづくり推進事業
- ガラス文化推進事業
- 芸術文化活動支援育成事業
- 世代別市民文化度育成事業

(3) 文化財の保護・活用

地域の伝統・文化の象徴である財産を適切に保存・管理し、その活用を図るとともに、そのために必要となる施設等の整備・改修に取り組みます。また市民の郷土愛の醸成を図るため、ふるさと文化遺産^{*}の登録や地域・学校と連携した文化財活用の取組、歴史民俗資料館の充実を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値	中期目標値 (令和7年度)
文化財をテーマとした地域・学校との連携事業の参加者数	—	(令和2年度) 300 人	1,000 人
歴史民俗資料館企画展来場者数	—	(令和元年度) 2,943 人	3,500 人

主要事業

- 文化財保護活用事業
- 文化財保存整備事業
- 文化財保存展示事業(歴史民俗資料館)

関連する個別計画

- 山陽小野田市文化振興ビジョン (平成 24 年度～令和 3 年度)



ガラス制作体験



初心者向け かるた競技

基本施策

31

スポーツによるまちづくりの推進

2029年のあるべき姿

本市の体育施設について、安全性の確保と利便性の向上を図り、持続可能な運営を行っています。また、ウォーキングやジョギング、さらにはレクリエーション的なスポーツにも取り組み、本市が目指す「スマイルエイジング[※]」を定着させ、体力維持及び向上に繋げています。また、レノファ山口を始めとするトップアスリートとの交流を深め、スポーツによるまちづくりが進み、まちの賑わいを創出しています。

現状と課題

- 市内には様々な体育施設がありますが、老朽化が進んでおり、改修するには多額の費用が必要になります。
- 本市ではスマイルエイジング[※]の取組を推進しており、更に健康増進に繋がる運動を促す必要があります。
- 総合型地域スポーツクラブ[※]は市内で2か所ありますが、地域のキーパーソンが不足しており新たなスポーツクラブの設立に繋がっていません。
- レノファ山口やパラサイクリング[※]のトップアスリートとの交流を通じたまちづくりに取り組んでいますが、まちの賑わいの創出が十分とは言えず、その取組についての市民の認知度が低い状態です。

4年間の目標

- 体育施設の適切な管理、計画的な改修実施
- 体育施設の統廃合の検討
- 多様な運動方法の促進
- 多様な運動機会の提案
- 担い手の育成・支援
- レノファ山口、パラサイクリング[※]などのトップアスリートとの交流の強化及びPR促進

目標指標

指標	説明	現状値 (令和3年度)	中期目標値 (令和7年度)
週1回以上スポーツ(ウォーキング等の軽運動含む)を行う割合	総合計画策定に係る市民アンケート	52.3%	60.0%

基本事業

(1) スポーツに取り組む環境づくり

市内の体育施設の適切な管理・計画的な改修を行うとともに、生涯にわたり、スポーツに取り組むことができる環境の整備を図ります。また、市の財政状況も厳しい中、体育施設における維持管理費・改修費等も年々増大してきている現状において、施設の統廃合についても検討を行います。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和元年度)	中期目標値 (令和7年度)
体育施設利用者数	—	173,937 人	250,000 人

主要事業

■ 体育施設維持整備事業

■ 学校・民間体育施設開放・活用事業

(2) スポーツ活動の推進

本市ではスマイルエイジング[※]に取り組んでおり、担い手の育成・支援を行うことで、総合型地域スポーツクラブ[※]等の活動を活性化させ、連携を図りながら、スポーツ活動を推進します。また、魅力あるスポーツイベントを通じて、本市とつながりの深いトップアスリートと交流を行うことで地域の一体感の醸成、まちの賑わいを創出します。

【評価指標】

指標	説明	現状値	中期目標値 (令和7年度)
総合型地域スポーツクラブ [※] 設立数	—	(令和2年度) 2 クラブ	4 クラブ
トップアスリート等との交流人数	—	(令和元年度) 893 人	950 人

主要事業

■ スポーツによるまちづくり推進事業

■ 生涯スポーツ推進事業

関連する個別計画

- スポーツによるまちづくり推進計画（平成 28 年度～令和 7 年度）



パラサイクリングナショナルチームと小学生との交流



レノファ山口と幼稚園児との交流